

抵抗の歴史は弾圧の歴史  
『戦争と核と詩歌』(石川達子著)を読み長崎の反原爆の詩人福田須磨子のことを「人の命を奪う」ことがオゾンライズされた特殊産業…原発のりこえなければならぬ課題を共に戦争法、どうすれば阻止できたのかアジアの視点に立つて、共なる闘いを

ノノフィクションライター・女性史研究者 江刺 昭子 2  
長崎女性歴史研究会 つなごう命の会 共同代表 木村 泰子 3  
高崎区議会議員、みずみ連絡と歩む会 水摩 雪絵 7  
元佐賀大学理工学部教授 豊島 耕一 8  
平和遺族会 全国連絡会代表 西川 重則 10

〈労働者通信〉 労働・生活・闘争の現場から  
被災地の子どもと教職員はいま 生活と健康・安全への不安は減らない  
三四年の闘いを振り返って なぜ大量に頸肩腕症候群は発生したか  
マレーシアを旅して 加害の歴史を認識するために  
朝鮮学校の子どもたちと、ハムケ・共に！ 歴史的な事実を知ってほしい

福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 14  
NIT 木下 孝子 17  
HOWS受講生 鈴木 和良 20  
ハムケ・共に 猪俣 京子 22

特集Ⅰ 日本人民の歴史認識を確立しよう

日本軍国主義敗北七〇周年のこんにちの意味

戦争法案の成立はわれわれに何を問っているか

社会学 理論研究 山下 勇男 26

〈資料 再録〉『新日本文学』一九六〇年八月号  
〈質的転換〉論批判

湯地 朝雄 36

侵略・植民地支配の歴史の抹殺を許さない

日朝人民の階級的連帯を求めて

安倍七〇年談話は戦争法案の強行突破宣言

日本労働者階級人民の敗戦後七〇年をこぞ問う

韓国労働運動 研究 土松 克典 40

新連載 〈ヘイト・スピーチと闘うために〉①  
植民地主義とヘイト・スピーチ

東京造形 大学教授 前田 朗 56

〈インターナショナル・レビュー〉 ●ロシア軍シリア政府を支援し、武器、軍事顧問、情報を提供する シアラー・マイサン ●難民危機と米国のNATOによる干渉の大量虐殺的性格 キーラン・ケリー ●第17回共産党労働者党国際会議開催 トルコ共産党による公式発表文書 ●戦線は親日独裁vs抗日反独裁だ 韓国史教科書の国定問題にたいして シン・ジェギル

65

特集Ⅱ 社会主義が実現した社会を知る

20世紀に現存した社会主義は何を実現していたのか

第三世界の諸国民を支援し、平和構築の道を開いたソ連 東欧諸国

国際交流平和 フォーラム代表 富山 栄子 82

〈ルポルターージュ〉  
この目で見た変貌する朝鮮

敗戦70年の年に訪れて

朝鮮訪問団 メンバー 沖江 和博 96

〈状況2016冬〉  
軍事 日米軍事一体化がすすめる構想  
沖縄 沖縄の反基地闘争と基地廃絶への道  
原発 伊方原発上空を飛び交う米軍機  
演劇 凡庸さの悪の発見と、抵抗者の不在

「中国脅威論」を口実に現美離れの戦略 高橋哲哉の「県外移設論」について 脆弱原発再稼働十欠陥 機オスブレインの悪夢 憲法寄席2016冬公演「美しい国の恐怖と貧困」観劇記  
教員 研究 吉沢 弘志 116  
社会主義 研究 阪上 みつ子 122  
HOWS 受講生 中村 泰子 128  
HOWS 受講生 野田 光太郎 136

〈続・拉致問題で歪む日本の民主主義〉  
内閣改造で拉致問題のやる気のなさが顕在化 苛立つ「産経」コラムが本音の核武装論に言及

マスコミはいつまで及び腰報道を続けるのか

琉球大学 名誉教授 高嶋 伸欣 140

研究ノート 維新の底流

名もなき人々のたたかい

編集者 渥美 博 148

〈文庫発掘〉  
『イスラーム文化』

その根柢に あるもの(井筒俊彦)

自営業 金山 裕宜 39

〈短歌〉 国家の拳丸

金山明子画「さかしま」に寄せる

歌人 加部 洋祐 55

〈川柳〉 笑歌 サメのポンポコリン

笑い 茸 114

連載

〈放射能汚染と向かい合ったための基礎知識〉  
〈原発事故被災者の声〉

今中哲二 64  
國分富夫 81

東日本大震災・被災地区復興委員だより 地区復興委員だより 波来土の漫画館 波来土 25  
イラスト通信 広浜綾子 15  
金野正晴 13

〈表紙のことば〉「風景断章15-17」

(二〇一五年、和紙に墨・朱) 画家 稲垣 三郎 11

〈デザイナーの独り言〉

追川 恵子 176

編集後記 176

表紙デザイン・追川恵子 イラスト・金山政紀

